

令和元年度 第1回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 令和元年7月24日（水）午後2時00分～
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 上田委員、西田委員、堺(婦)委員、野田委員、松尾委員、江崎(君)委員、江崎(美)委員、後藤委員、藤本委員、岡本委員、柿川委員
- 【欠席委員】 柿原委員
- 【行政関係者】 中島市民協働部長、富安市民協働部調整監、徳川地域コミュニティ推進課長、大倉野生涯学習課長、楠生涯学習課青少年担当課長、徳永スポーツ推進室長、田中世界遺産・文化財室主査、西田地域コミュニティ推進課社会教育主事、岡同課社会教育担当職員、西山同課社会教育担当職員

◆委嘱状交付

組織の再編により、小・中・特別支援学校 PTA 連合会委員に委嘱状を交付（柿原委員は欠席）。任期は、令和1年7月1日～令和2年6月30日までの1年間。

◆あいさつ

中島市民協働部長

◆自己紹介

各社会教育委員及び行政関係職員

◆社会教育委員の会議について

配布資料『第1回社会教育委員の会議』P3～12に基づき事務局が説明。

◆福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

福岡県社会教育委員連絡協議会評議員は2年間（令和元年度から令和2年度）の任期で、前任期に引き続き「堺（裕）議長」に就任していただく。

◆市町村社会教育委員新任者研修会について

藤本委員より、配布資料『研修会参加報告書』に基づき報告。

◆議 題

1 平成30年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和元年度事業計画（案）について

配布資料『第1回社会教育委員の会議』P15～18に基づき、事務局が説明。以下の質問が出た。⇒ 一同承認

議長	事業計画（案）の第3回協議内容は2年に1回の議題ではないのか。
行政関係者	修正する。

2 令和元年度社会教育・生涯学習事業計画について

配布資料『大牟田市教育の振興に関する大綱』に基づき、位置づけ、基本目標、体系図、重点事業などを富安調整監より説明。その後、配布資料『令和元年度社会教育事業計画』及び『令和元年度社会教育機関等事業計画』に基づき、重点事業及び新規事業等を中心に各課長より説明。以下の意見・質問が出た。⇒ 一同承認

委員	社会教育・生涯学習事業計画のNo.29「子ども未来デッサン事業」には感心しているが、手鎌地区公民館だけではなく他の場所でも行ってほしい。地域外では子ども達が保護者同伴でなければ参加できない。
行政関係者	昨年から生涯学習課が行っていたものを地域コミュニティ推進課で行うようになり、試行的に3年間はモデルとして手鎌地区公民館で行い、内容、手法を試行錯誤していく予定である。しかし、参加者からも同様の声があがっているため、来年度からは変更できる点については検討していく。
議長	社会教育・生涯学習機関等事業計画のNo.39「認知症にやさしい図書館&博物館」認知症の方が利用しやすい図書館、博物館ではなく認知症についてのケアハウス資料になるのか。
行政関係者	実行委員会が立ち上がったばかりのため、どういった取組みを行っていくのかは随時話し合いを進めていく。やれることからやっっていこうということで、認知症の資料がどこにあるのかわからないということから、まずはそこから。最終的には、認知症の方だけでなく、誰もが利用しやすい図書館を目指していく。
委員	社会教育・生涯学習機関等事業計画のもくじにリフレスおおむたは掲載があるが、エコサルクセンターは掲載がない。エコサルクセンターも多くの事業を行っているが、どういう扱いになるのか。
行政関係者	エコサルクセンターは社会教育施設ではなく、環境啓発関連施設という扱いである。
委員	社会教育・生涯学習事業計画のNo.114「テーマ別展覧会事業」では、よい作品が沢山ある。沢山の人に足を運んでもらうために広報おおむたに作品を載せてほしい。
行政関係者	広報課と相談する。情報提供は「テーマ別展覧会事業」に関わらず、年代に合わせたソースを利用して行っていく。

3 社会教育・生涯学習基礎調査研究について

配布資料「第4章 基礎調査結果に基づいた本市の社会教育・生涯学習のあり方」と配布資料「Ⅶ 社会教育・生涯学習背策の推進にあたって」に基づき、大倉野課長より説明。以下の意見・質問が出た。⇒ 一同承認

委員	子ども達が地域で活動していることは、とてもすごいと感じている。小学校で活動していた子ども達が、中学でも活動し、三池工業がユネスコスクールに加盟したことで活動の場が広がり、「E S Dを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり」が広まってほしい。実際に大牟田の夏祭りで神輿を担ぐ人が少なかったとき、三池工業の生徒達が一緒に活動してくれた。大牟田市民だけではなく在籍する生徒達も活動することにも繋がり、高校卒業後も大牟田に根付いていくのではないかと思う。
委員	みなと祭りではお世話をしてくれる人が高齢化しているため、高校生ボランティアを募ったところ100名集まり、協力してもらった。子ども達が企画に加わることで自分達が主体として運営している達成感、人も集まってくる。こういうことは大事だと思う。
議長	配布資料「Ⅶ 社会教育・生涯学習背策の推進にあたって」に組織体制における課題とあるが社会教育委員の会議はどの位置づけになるか。
行政関係者	配布資料「第4章 基礎調査結果に基づいた本市の社会教育・生涯学習の在り方」の視点3の③と考えられる。社会教育施設の機能向上とは建物だけではなく、社会教育担当職員の資質の向上も含まれている。
委員	1月に行われる報告会（ユネスコスクール子どもサミット）に社会教育委員を招待してほしい。
委員	学校からの情報発信を保護者に向けてだけではなく、地域の方々にも行えるような仕組み、工夫をしていきたい。
委員	天の原校区ではまちづくり協議会の中で子ども達が海洋教育の発表を行っている。
委員	E S Dを進めるにあたり、中学校区では複数の地区公民館、校区まちづくり協会が対象となるため、地区公民館と相談して連携していきたい。
行政関係者	配布資料「第4章 基礎調査結果に基づいた本市の社会教育・生涯学習の背策の在り方」の9ページに記載している「地域E S D事業（新）」「学校E S D事業（新）」を案として出している。「学校E S D事業（新）」では、学校が進めているE S Dの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うものである。

◆報 告

大牟田市子ども読書推進計画の改訂について

配布資料『大牟田市子ども読書推進計画の改訂について』に基づき、大倉野生涯学習課課長より

説明。

◆その他

・委員の研修案内

今後の研修については、随時案内を出していく。

⇒ 第2回会議 11月上旬 予定